

(2) 工業科

—ものづくりを通じて地域を支え、社会の持続的発展を担う工業科—

- 工業科では、ものづくりを通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成します。
- 本県の工業科には、県内の産業の特色に応じた学科、系列が設けられています。工業科の特徴は、工業技術に関する知識を学ぶだけでなく、実践的・体験的な実習や実験を通して技術・技能を確実に習得し、変化する社会に応じて専門性を高め続けていく力を身に付けられることにあります。

○ 工業科を置く学校

県立	韮崎工業高等学校	電子機械科、電気科、情報技術科、環境化学科、システム工学科、制御工学科
	甲府工業高等学校	機械科、電気科、電子科、建築科、土木科、専攻科創造工学科 注1
	〃 定時制	機械科、電気科、建築科、専攻科建築科 注2
	青洲高等学校	機械工学科、土木工学科
	都留興譲館高等学校	機械工学科、電子工学科、制御工学科、環境工学科

注1 注2 専攻科は高等学校卒業後に入学可

○ 工業科以外で工業科目が学習できる学校（総合学科）

県立	甲府城西高等学校	メカトロニクス系列、エレクトロニクス系列
	富士北稜高等学校	電気情報系列、機械テクノロジー系列、建築デザイン系列

○ 教育内容

各学科とも、普通科目と各学科の専門科目を学習します。

- ・普通科目：国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・英語・家庭
- ・各学科共通に学習する専門科目：工業技術基礎・課題研究

○ 各学科の概要

【機械系（機械科、~~電子機械科~~、~~機械工学科~~）】

機械の設計の基礎となる理論や製図、各種工作機械による製品製作、加工や溶接、組立、検査、電子技術、工業生産システム等に関する知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

① 専門科目（学科独自の科目）

機械工作、機械設計、~~原動機~~、機械製図、~~電子機械~~、自動車工学 など

② 卒業後の進路

各種製造会社、官公庁、サービス関連企業、電気・電子機器製造会社、大学進学 など

③ 取得できる資格

溶接技能者、ボイラー技士、車両系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、危険物取扱者、電気工事士、情報処理技術者、技能士（機械加工・機械検査・一般熱処理）、QC検定 など



溶接実習

【電気・電子系（電気科、~~電子科、電子工学科~~）】

電気・電子に関する基礎となる理論や電気回路・電子計測技術等を学習し、発電所や送配電、電動機、変圧器、通信機器、テレビやコンピュータなどの知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
電気回路、電気機器、電力技術、電子技術、電子回路、通信技術、~~電子計測制御~~ など
- ② 卒業後の進路
電気・電子機器製造会社、電力会社、ネットワーク関係の企業、官公庁、電気工事業、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
電気主任技術者、電気工事士、ITパスポート、工事担任者(デジタル通信、アナログ通信)、技能士（電子機器組立、電気機器組立）、陸上特殊無線技士、QC検定 など



電子実習

【情報系（情報技術科）】

電子回路に関する学習やコンピュータの構成・利用技術、プログラミング、電子制御回路などハードウェアとソフトウェアの知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、電子回路、電子技術 など
- ② 卒業後の進路
電子機器製造会社、電力会社、情報サービス関係、ネットワーク関係の企業、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
ITパスポート、陸上特殊無線技士、工事担任者(デジタル通信、アナログ通信)、パソコン検定、ワープロ検定、QC検定、ウェブデザイン技能検定など



コンピュータ実習

【建築系（建築科）】

住宅から高層建築まで様々な建築物を設計するために必要な理論及び構造、工法、材料などについての知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
建築構造、建築施工、建築構造設計、建築計画、建築法規 など
- ② 卒業後の進路
建設会社、工務店、建築設計事務所、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
2級建築施工管理技術検定、初級CAD検定、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター、レタリング検定、技能検定(建築大工2・3級、家具製作3級、鉄筋施工3級)、2級建築士(卒業後受験) など



木材加工実習

5 定時制・通信制課程

(1) 定時制

もともとは、働きながら学びたい人のための高等学校でしたが、時代とともに移り変わり、現在では、「中学校までに不登校を経験している」「他の高校からの転入学・編入学（中途退学経験者）を希望する」「過去に高等学校教育を受ける機会がなかった」などの理由がある人などの学ぶ場となっています。学び直しの機会の提供、自分のペースで学べる多様な学習スタイルを可能としています。

卒業まで原則4年間が必要ですが、昼夜併修や定通併修などにより必要な単位を修得すれば、3年で卒業できることも可能です。



授業風景

○ 定時制課程を置く学校

県立	普通科	葦崎高等学校（注1）、巨摩高等学校、山梨高等学校、都留高等学校 中央高等学校（注2）、ひばりが丘高等学校（注3）
	情報経理科	中央高等学校（注2）、ひばりが丘高等学校（注3）
	機械科・電気科・建築科	甲府工業高等学校（注4）

（注1）昼間定時制で、午前部と午後部があります。

（注2）普通科は午前部、午後部、夜間部があります。情報経理科は午後部と夜間部があります。

（注3）普通科は昼間部と夜間部、情報経理科は昼間部のみとなります。

（注4）入学者選抜検査は工業科として一括で募集し、1年次後期から各学科に分かれて専門科目を学びます。

○ 教育内容

- ・全日制と同じ内容を、原則4年で学習します。生徒の興味や生活の実態に即して、各教科の基礎的な内容を重点的に、勤労と学習を両立させながら、学んだことが無理なく身につくよう指導します。
- ・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動や放課後の部活動も盛んで、定通制の県総合体育大会、生活体験発表大会、文化作品展示、県芸術文化祭定通部門、全国大会等が行われ、学校生活を一層豊かで思い出深いものにしていきます。

○ 進路状況

就職する人、進学する人、在学中の職業を続ける人など様々です。就職は県内就職、進学は専修・各種学校への進学の割合が高いです。

○ 特典（条件有り）

- ・夜間定時制では給食または補食が実施され、費用については、県の補助もあります。
- ・教科書の無償配付、修学奨励金等の制度があります。

(2) 通信制

家庭、職場の関係や身体の都合などで、毎日通学して授業を受けることのできない人のための高等学校です。（毎日登校して学習することを目的とする登校型を設置する学校もあります。）

普通科、衛生看護科、航空科があります。

普通科と航空科は、中学校を卒業した人（見込みを含む）で熱意があれば受検し入学できます。衛生看護科は、甲府看護専門学校准看護学科への入学許可予定者若しくは在籍者若しくは卒業生であることが必要です。3年以上在学して必要な単位を修得すると、高等学校卒業の資格が得られます。



授業風景

参考資料

○公立高等学校の授業料等

		入学審査料	入学料	授業料
県立	全日制	2,200	5,650	9,900/月
	定時制	950	2,100	1,620/単位
	通信制		500	310/単位
甲府商業高校		2,200	5,650	9,900/月
甲陵高校		3,000	5,650	9,900/月

授業料は、原則有償となっています。ただし、就学支援金の認定を受ければ徴収されません。

なお、修学旅行の積立金や生徒会費などは別途徴収されます。詳しくは、各高校の事務室にお問い合わせ下さい。

○奨学金制度

[公益財団法人 山梨みどり奨学会 奨学金]

保護者の住所が県内にあり、資質に優れながらも経済的理由により、修学が困難な高等学校等の生徒に対し奨学金の貸与を行う。

1. 予約採用

中学校（特別支援学校中等部を含む。）の第3学年に在学し、高等学校等進学後に奨学金の貸与を希望する生徒を対象に募集を行う。

<募集期間>

9月～10月

<申込先>

在学中学校

2. 在学者採用

高等学校等進学後、1の「予約採用」と同趣旨の募集を行う。

<募集期間>

4月～5月

<申込先>

在学高等学校 等

3. 貸与月額

<国公立高校等に通う生徒>

自宅通学者 18,000円

自宅外通学者 23,000円

<私立高校等に通う生徒>

自宅通学者 30,000円

自宅外通学者 35,000円

4. 提出書類

申込書・確認書・証明書 等

5. 返還方法

貸与終了後6ヶ月据置、月賦により9～12年で返還

<問い合わせ先>

公益財団法人 山梨みどり奨学会

山梨県教育委員会高校教育課内

電話 055-223-1852

[高校生等奨学給付金]

授業料以外の教育費負担の軽減を目的として、年に1度、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給する制度です。返還の必要はありません。

1. 対象となる世帯

令和5年7月1日現在、次のア)、イ)、ウ) 全てに該当する世帯

ア) 保護者等が山梨県内に住所を有すること。

イ) 高校生等が「高等学校等就学支援金」の支給対象校に在学していること。

ウ) 生活保護法による「生業扶助」が行われていること、または 支給年度の保護者等全員の市町村民税所得割が非課税であること。

2. 生徒一人当たりの給付額（年額）

ア) 生活保護受給世帯

公立 32,300円

私立 52,600円

イ) 高校生等以外に15歳以上23歳未満の子の扶養されている兄弟姉妹がいない場合

公立 114,100円（通信制の場合は50,500円）

私立 134,600円（通信制の場合は52,100円）

ウ) 保護者が高校生等以外に15歳以上23歳未満の兄弟姉妹を扶養している世帯で第2子以降の場合

公立 143,700円（通信制の場合は50,500円）

私立 152,000円（通信制の場合は52,100円）

申請方法、支給方法等の制度の詳細な内容につきましては、各高等学校等の事務室または下記連絡先にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

・各高等学校等の事務室

・公立高等学校：山梨県教育委員会高校教育課
電話 055-223-1769

・私立高等学校：山梨県民生活部私学・科学振興課
電話 055-223-1322

[定時制通信制修学奨励金]

県内の定時制又は通信制高校に在学し、経済的理由により修学が困難な生徒に修学奨励金の貸付を行う。

〈貸与月額〉

14,000 円

〈提出書類〉

修学奨励金貸付願、収入に関する証明書等

〈申込先〉

各高等学校

〈貸与期間〉

48 か月以内

〈返還免除〉

定時制・通信制の課程を卒業した場合は、返還が免除されます。

〈問い合わせ先〉

山梨県教育委員会高校教育課

電話 055-223-1769

[母子父子寡婦福祉資金]

ひとり親家庭等の生徒が就学するために必要な経費を貸し付けます（父母のいない生徒も対象になります）。

[就学支度資金]（無利子）

〈貸付限度額〉

- ・ 公立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 150,000 円
 - 自宅外通学者 160,000 円
- ・ 私立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 410,000 円
 - 自宅外通学者 420,000 円

〈返還方法〉

卒業後 6 ヶ月据置で 5 年以内に返還

〈申込期間〉

入学月の翌月まで（特別の事由がある場合には、翌々月まで）

[修学資金]（無利子）

〈貸付限度額〉

- ・ 公立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 27,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 34,500 円（月額）
- ・ 私立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 45,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 52,500 円（月額）

〈返還方法〉

卒業後 6 ヶ月据置で 10 年以内に返還（専修学校一般課程は、5 年以内に償還）

〈申込期間〉

随時

〈申込先・問い合わせ先〉

お住まいの地域の県保健福祉事務所 福祉課

中北:0551-23-3443 峡東:0553-20-2750

峡南:0556-22-8145 富士・東部:0555-24-9047

※甲府市にお住まいの方は、甲府市子ども未来部子ども未来総室子育て支援課子育て支援係(055-237-5674)へご相談下さい。

※申請～貸付までに 2 ヶ月ほどかかりますので、お早めにご相談ください。

[生活福祉資金]

低所得世帯に属する者が高等学校等に就学するのに必要な経費、また、入学に必要な経費を貸与。

〈教育支援費〉（無利子）

高等学校（専修学校高等課程を含む。）

月額 35,000 円以内

〈就学支度費〉（無利子）

500,000 円以内

〈申込期間〉

随時

〈申込先〉

市町村社会福祉協議会

〈返還方法〉

卒業後 6 か月据置で 20 年以内に返還

〈問い合わせ先〉

山梨県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会

○県立学校のホームページについて

山梨県総合教育センターのホームページに、各県立高校、特別支援学校のホームページへのリンクがあります。メニューの「学校・団体へのリンク」をクリックしてください。

山梨県総合教育センター

<http://www.ypec.ed.jp/>

甲府工業高校定時制のホームページ

<http://www.kofutei.kai.ed.jp/>

甲府工業 定時制 で検索